

### 第3回 かほく市 住宅再建や液状化対策に関する意向調査結果

#### ■意向調査実施概要

対象内訳	・七窪地区に土地を所有の方 ：379世帯
調査方法	・郵送配布 郵送回収もしくはWEB回答
調査期間	・2025年12月12日発送～2026年1月31日締切

#### ■意向調査 設問概要

1.住民説明会	問1   住民説明会の参加有無
2.液状化対策	問2   公共施設との一体的な液状化対策の必要性 問3   液状化対策をしてほしくない理由
3.住宅再建	問4   住宅再検討の実現希望時期 問5   宅地復旧の支援制度の活用意向 問6   宅地復旧の支援制度で想定する工事内容
4.宅地周辺の痕跡	問7   宅地周辺の痕跡の有無 問8   宅地周辺の痕跡の場所 問9   宅地周辺の痕跡の記録の有無 問10   宅地周辺の痕跡の記録の提供の可否 問11   記録提供の連絡先
5.その他	問12   その他自由記入欄

#### ■回収状況

合計 223件  
(郵送：158件、WEB：65件)  
回収率 59%

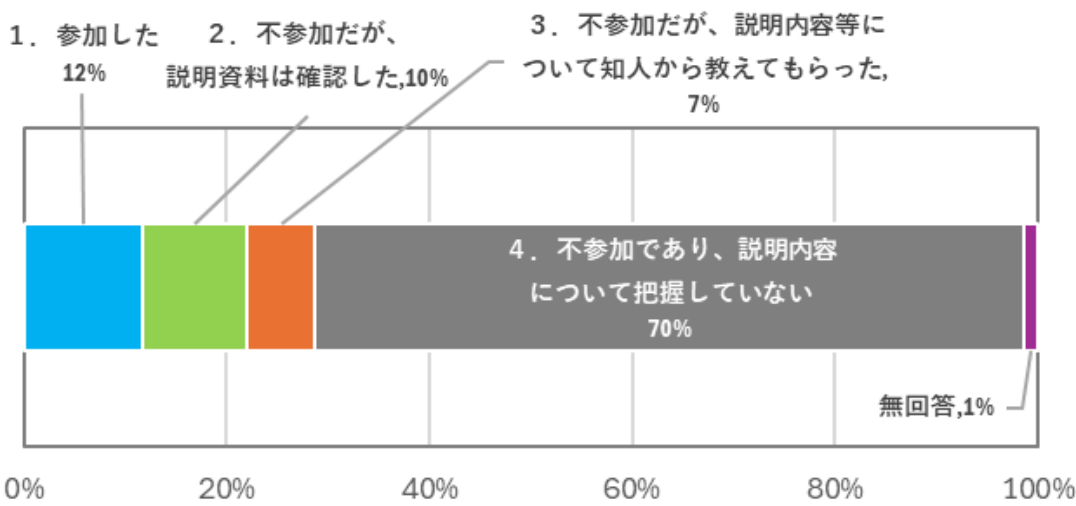
#### ■集計状況

地区名	集計率   地区全体	
七窪地区	59%	配布：379件
		集計：223件

結果 | 単純集計一覧

問1 | 令和7年5月27日に実施した住民説明会への参加状況について教えてください。

- 「住民説明会に参加した」と回答した世帯は、12%であった。
- 「住民説明に不参加であり、説明内容について把握していない」と回答した世帯が最も多く、70%を占めている。



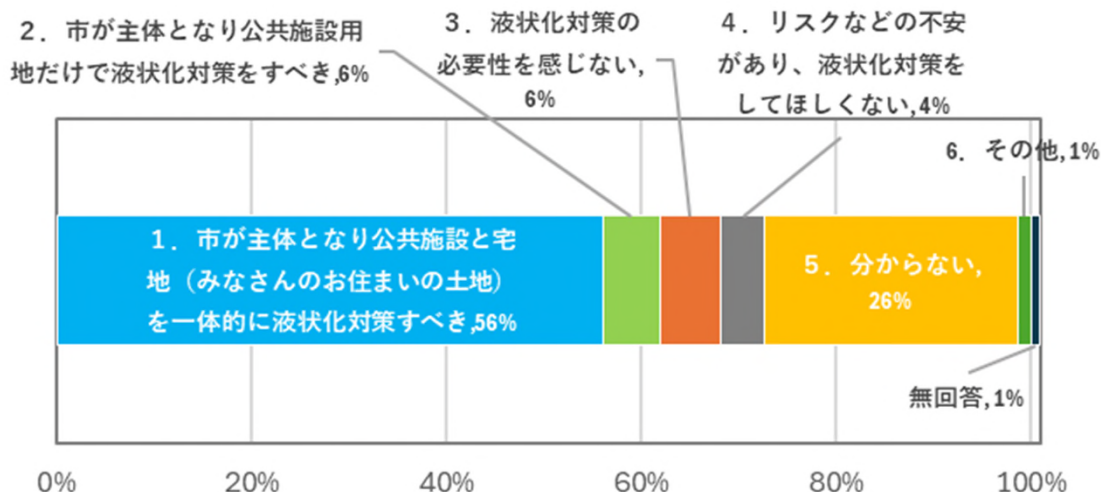
問1   令和7年5月27日に実施した住民説明会への参加状況について教えてください。	回答数	割合
1. 参加した	26	12%
2. 不参加だが、説明資料は確認した	23	10%
3. 不参加だが、説明内容等について知人から教えてもらった	15	7%
4. 不参加であり、説明内容について把握していない	156	70%
無回答	3	1%
合計	n=223	100%

## 第3回 かほく市 住宅再建や液状化対策に関する意向調査結果

## 結果 | 単純集計一覧

問2 | 現在、液状化対策工法として、道路などの公共施設と宅地の一体的な対策が可能な、「地下水位低下工法」と「地盤改良工法」を検討しています。これらの工法は、再度の液状化防止に効果があるとされていますが、工事が長期間になる可能性があります。このような工事について、あなたの考えに近いものをお答えください。

- 「市が主体となり公共施設と宅地を一体的に液状化すべき」と回答が世帯が最も多く、56% 占めた。
- 「リスクなどの不安があり、液状化対策をしてほしくない」と回答された方は、4%であった。



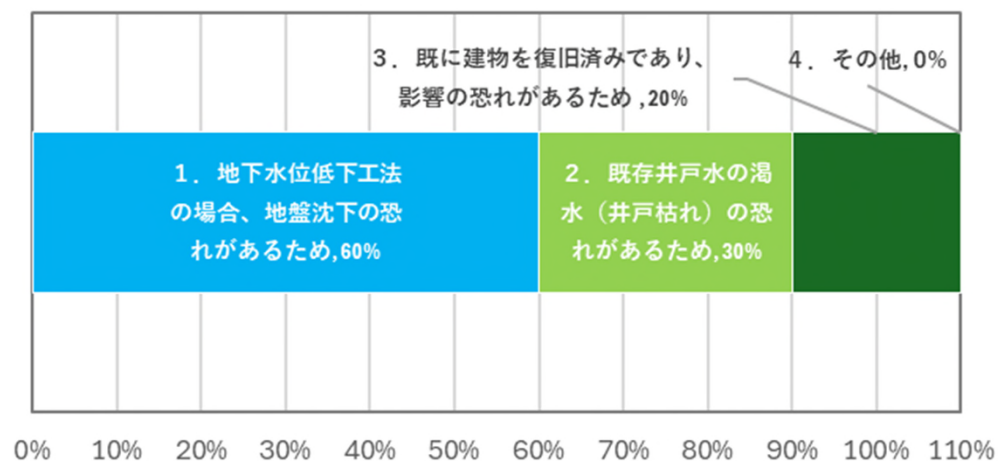
問2   現在、液状化対策工法として、道路などの公共施設と宅地の一体的な対策が可能な、「地下水位低下工法」と「地盤改良工法」を検討しています。これらの工法は、再度の液状化防止に効果があるとされていますが、工事が長期間になる可能性があります。このような工事について、あなたの考えに近いものをお答えください。	回答数	割合
1. 市が主体となり公共施設と宅地（みなさんのお住まいの土地）を一体的に液状化対策すべき	125	56%
2. 市が主体となり公共施設用地だけで液状化対策をすべき（宅地での液状化対策はしてほしくない）	13	6%
3. 液状化対策の必要性を感じない	14	6%
4. リスクなどの不安があり、液状化対策をしてほしくない	10	4%
5. 分からない	58	26%
6. その他	3	1%
無回答	2	1%
合計	n=225	101%

※複数回答についても集計に含める

## 結果 | 単純集計一覧

問3 | 問2で「リスクなどの不安があり、液状化対策をしてほしくない」と回答された方にお聞きます。  
液状化対策をしてほしくない理由について、現在のお考えに近いものをお答えください。

- 液状化してほしくない理由は、「地下水位低下工法の場合、地盤沈下の恐れがある」と回答した世帯が最も多く、60%を占めた。



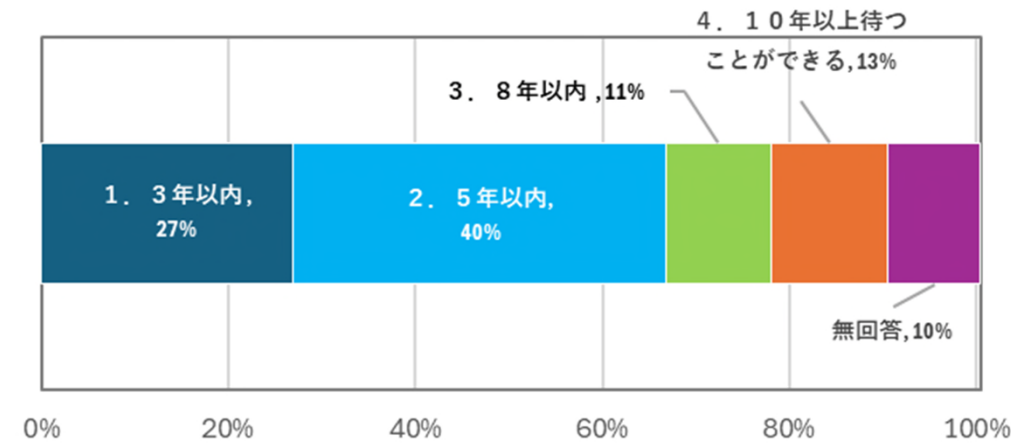
問3   問2で「4. リスクなどの不安があり、液状化対策をしてほしくない」と回答された方にお聞きます。液状化対策をしてほしくない理由について、現在のお考えに近いものをお答えください。	回答数	割合
1. 地下水位低下工法の場合、地盤沈下の恐れがあるため	6	60%
2. 既存井戸水の渇水（井戸枯れ）の恐れがあるため	3	30%
3. 既に建物を復旧済みであり、影響の恐れがあるため	2	20%
4. その他	0	0%
無回答	0	0%
合計	n=11	110%

※複数回答についても集計に含める

結果 | 単純集計一覧

問4 | 住民説明会資料の今後のスケジュールに示す通り、液状化対策を実施する場合、道路や上下水道のインフラ施設の復旧や宅地等の本格復旧の長期化が想定されます。現地で生活再建を考える場合、インフラの本復旧までに今から何年以内なら待つことができるか、現在の考えに近いものをお答えください。

- 「3年以内」、「5年以内」と回答した世帯が、合わせて67%となり半数以上を占めた。



問4   住民説明会資料の今後のスケジュールに示す通り、液状化対策を実施する場合、道路や上下水道のインフラ施設の復旧や宅地等の本格復旧の長期化が想定されます。現地で生活再建を考える場合、インフラの本復旧までに今から何年以内なら待つことができるか、現在の考えに近いものをお答えください。	回答数	割合
1. 3年以内	60	27%
2. 5年以内	89	40%
3. 8年以内	25	11%
4. 10年以上待つことができる	28	13%
無回答	22	10%
合計	n=224	100.4%

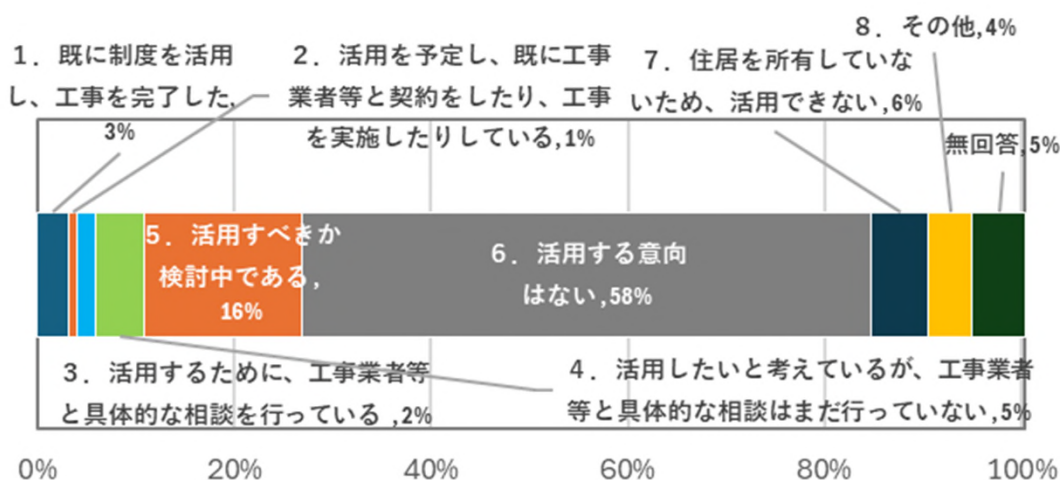
※複数回答についても集計に含める

## 第3回 かほく市 住宅再建や液状化対策に関する意向調査結果

## 結果 | 単純集計一覧

問5 | かほく市では、被災した宅地の早期復旧のため「被災宅地等復旧支援事業」を創設しています。この宅地の復旧等に係る支援制度の活用意向についてお答えください。なお、宅地の復旧等に係る支援は必要なく、住宅の修繕等に係る支援だけを活用する場合の方は、「活用する意向はない」を選択ください。

- 既に活用に向けて取り組んでいる世帯は、1割弱であった。
- 「活用の意向はない」と回答した世帯が最も多く、58%となり半数以上を占めた。



問5   かほく市では、被災した宅地の早期復旧のため「被災宅地等復旧支援事業」を創設しています。この宅地の復旧等に係る支援制度の活用意向についてお答えください。なお、宅地の復旧等に係る支援は必要なく、住宅の修繕等に係る支援だけを活用する場合の方は、「6.活用する意向はない」を選択ください。	回答数	割合
1. 既に制度を活用し、工事を完了した	7	3%
2. 活用を予定し、既に工事業者等と契約をしたり、工事を実施したりしている	2	1%
3. 活用するために、工事業者等と具体的な相談を行っている	4	2%
4. 活用したいと考えているが、工事業者等と具体的な相談はまだ行っていない	11	5%
5. 活用すべきか検討中である	36	16%
6. 活用する意向はない	129	58%
7. 住居を所有していないため、活用できない	13	6%
8. その他	10	4%
無回答	12	5%
合計	n=224	100.4%

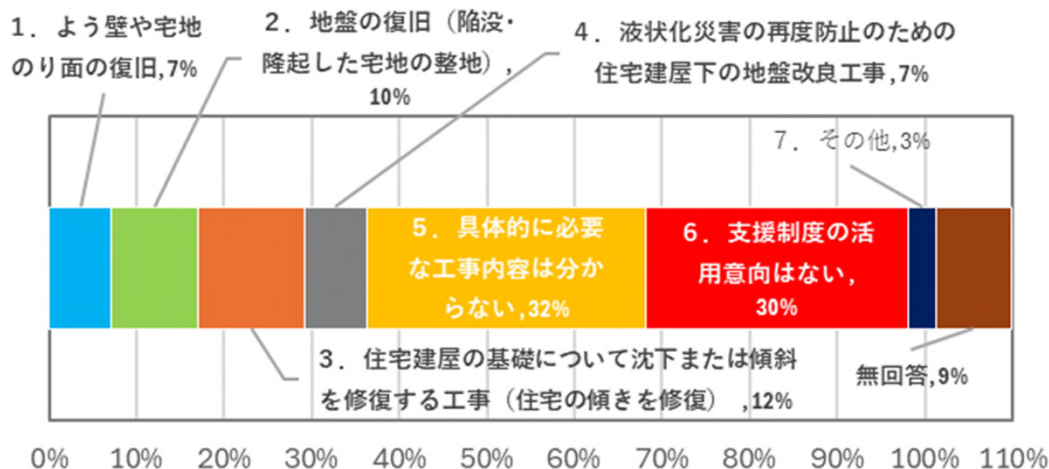
※複数回答についても集計に含める

## 第3回 かほく市 住宅再建や液状化対策に関する意向調査結果

## 結果 | 単純集計一覧

問6 | 宅地の復旧等に係る支援制度を活用する際（すでに実施した場合も含む）に対象とする工事内容について、現在必要と思われるものをお答えください。

- 具体的な工事内容の回答があった世帯は、3割程度を占めた。（回答番号1～4）
- ほか、回答番号5～7および無回答の世帯は、半数以上を占めた。



問6   宅地の復旧等に係る支援制度を活用する際（すでに実施した場合も含む）に対象とする工事内容について、現在必要と思われるものをお答えください。	回答数	割合
1. よう壁や宅地のり面の復旧	16	7%
2. 地盤の復旧（陥没・隆起した宅地の整地）	22	10%
3. 住宅建屋の基礎について沈下または傾斜を修復する工事（住宅の傾きを修復）	27	12%
4. 液状化災害の再度防止のための住宅建屋下の地盤改良工事	16	7%
5. 具体的に必要な工事内容は分からない	71	32%
6. 支援制度の活用意向はない	67	30%
7. その他	7	3%
無回答	19	9%
合計	n=245	110%

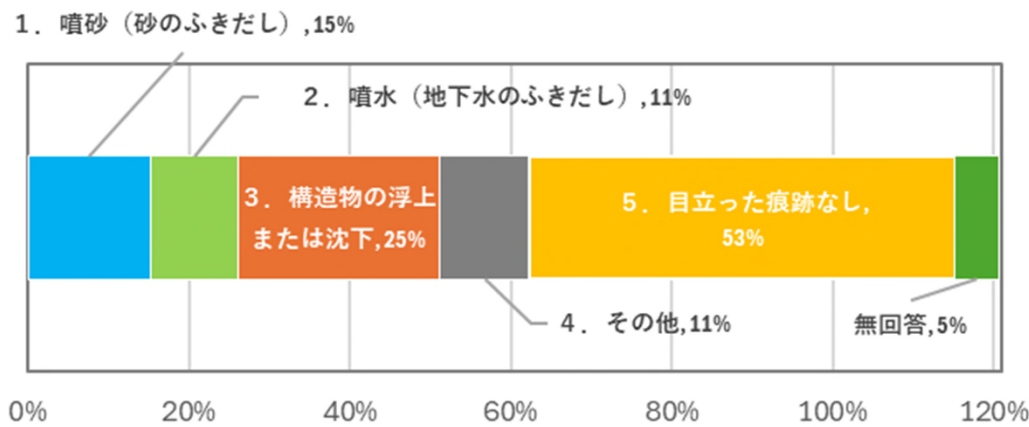
※複数回答についても集計に含める



結果 | 単純集計一覧

問7 | 今回の地震発生時および発生後、宅地周辺に液状化と思われる痕跡について、該当するものがあればお答えください。  
(複数回答可)

- 「目立った痕跡なし」と回答した世帯が最も多く、44%を占めた。
- 痕跡があった世帯の回答は、「構造物の浮き上がり・沈下」の回答が2割程度、「噴砂（砂の吹き出し）」が1割程度であった。
- 「その他」の回答としては、道路のひび割れ、コンクリートの亀裂、構造物の傾斜、地盤の隆起である。



問7   今回の地震発生時および発生後、宅地周辺に液状化と思われる痕跡について、該当するものがあればお答えください。 (複数回答可)	回答数	割合
1. 噴砂（砂のふきだし）	34	13%
2. 噴水（地下水のふきだし）	24	9%
3. 構造物の浮上または沈下	56	21%
4. その他	25	9%
5. 目立った痕跡なし	118	44%
無回答	12	4%
合計	n=269	121%

※複数回答可